

【15】津島五ヶ村の人々は町方と言われた。○か×か。



回答【    】

津島五ヶ村の初見は天文9年(1540年)、織田信秀『津島五ヶ村中』車屋 祭の期間は苗字・帯刀が許された。

津島五ヶ村の本街道を挟む両側町のみ「町方」「町方」 四家七苗字

①四家(大橋・岡本・山川・恒川)七苗字(堀田・平野・服部・鈴木・真野・光賀・河村)町方百姓

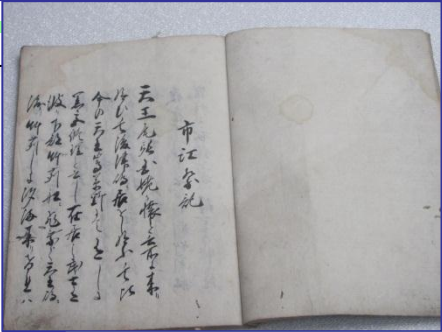
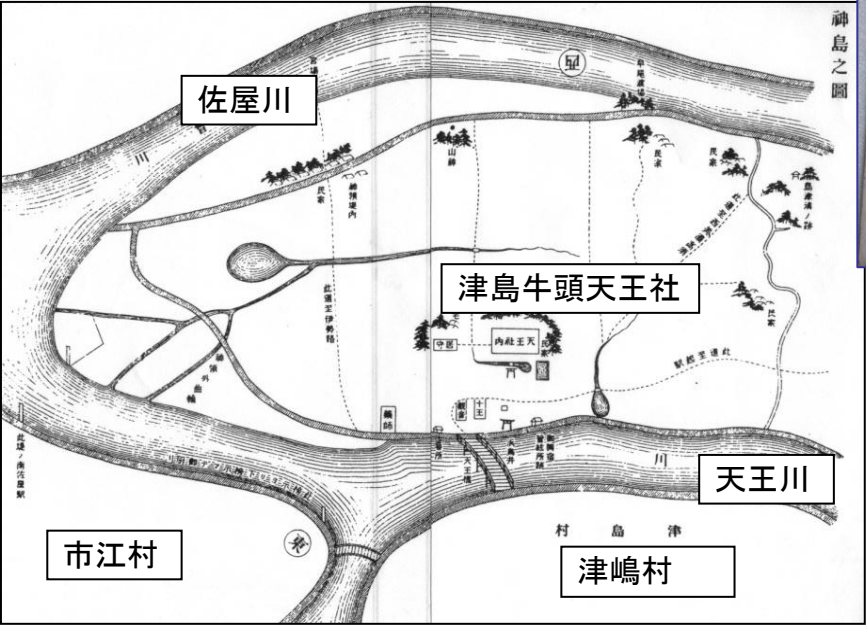
②町方百姓の屋敷を購入した者(零落・転居)

③町方百姓願い→町方の許可【神葎流し神事・尾張津島天王祭車】





# 【17】市江では、尾張津島天王祭を市江祭と呼んでいる。○か×か。



回答【 ○ 】。  
江戸時代、市江舟は佐屋川・天王川へ。明治32年(1899)に佐屋川がうめたてられると、天王川の車河戸近くの水路から朝祭に出船。朝祭に向けての行事は東保地区(愛西市東保)宇佐美で。

- 人形作り(にんぎょうづくり)  
「置物定め」で決められた能人形(シテ・ワキの2体)が車屋宅で作られる。
- 花合(はなあわせ)・花附(はなつけ)
- 星宮試楽(ほしのみやしがく)(星の宮神事) 朝祭の前日
- 神君様御寄附物(徳川家康の寄進品)」と置物人形が置かれます。



【18】津島神社では祭の時に味酏が造られる。○か×か。



回答【 】★神葎流し神事の行事  
江戸時代、天王川から流された神葎は佐屋川を下り、伊勢湾に。海岸沿いの村に漂着。現在は丸池。75日後に神葎納め神事が行われ、神葎島に。

★神葎刈場選定神事（みよしかりばせていしんじ）二子・前ヶ須で。朝祭の14日前

★一夜酒醸造（いちやざけじょうぞう）白米を蒸し、糀（こうじ）を入れて、ぬるま湯でかき混ぜて大桶（おおおけ）の中でならし一夜酒は、神事にも用いられる。酒は夏季の災いを祓い除けるといふ信仰。朝祭の5日前。

★神葎刈り神事 九束の神葎を刈り取る。朝祭の4日前。

★神葎揃え神事 刈り取った神葎（みよし）は、「真の神葎」・葉付・人形（ひとがた）・四垂・十二把物・六把物など6つの種類に揃えられる。



【19】神葎流し神事は、疫神を流すという御霊会の儀式である。○か×か。



回答【 】  
大御饌調進祭（おおみけ  
ちょうしんさい）  
宵祭の後、午前1時の深夜  
に神に飲食物を供る。

**神輿渡御（みこしとぎょ）** 神輿が御旅所へ渡御され尾張津島天王祭の宵祭、朝祭をご覧になります。

**神輿還御（みこしかんぎょ）** 市江・津島の車楽舟5艘が着岸し、児・車屋ら一行が上陸し終わると、神輿は津島神社に還御。

**神葎流し神事（陰暦6月16日）** 朝祭が終わり、津島の人々が寝静まった深夜午前1時に、灯火を全く消した暗闇の中で行われる神事。

天王川御旅所下の赤船。赤船2艘を並べ、青竹4本を渡したその上に神葎を重ねます。赤船は天王川の中ほどに出て、2艘の船は左右にわかれて、神葎は流します。陸では、神主（宮司）以下が列拝し、放流の祝詞（のりと）。終わって一行は行列を組んで米町の市神社に巡拝し、古式の立神楽（たてかぐら）。帰路は再び天天王川を通り神社へ。

【20】 津島神社では宵祭・朝祭・神葎流し神事が終わると祭は終了する。○か×か。



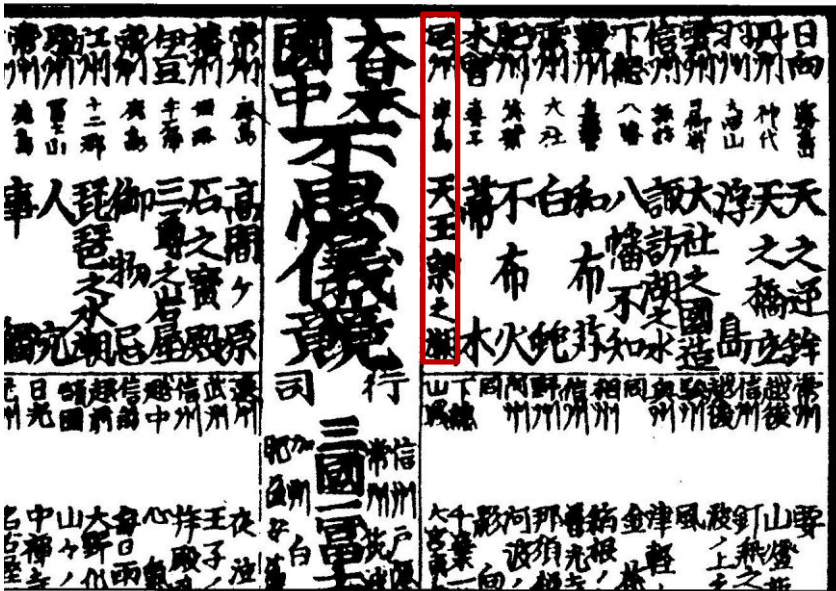
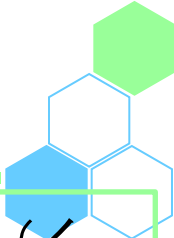
回答【 】 ○神葎着岸祭（みよしちゃくがんさい）朝祭2日後（陰暦6月17日）現在の天王川は丸池。神葎は天王川から流れ出ない。江戸時代でも天王川堤防に着岸すると、当地で着岸祭が行われた。津島の人々は大喜びで町内ごとに御葎踊（みよしおどり）を行った。

○神葎祭 1日目は午後4時、2日目は午前6時に、川の中におまつりした神葎に赤船2艘に乗った神官、巫女（みこ）らが御神楽を奏します。朝祭8・9日後（陰暦6月23日・24日）。

○神葎納め神事（みよしおさめしんじ）神葎を神葎島（丸池の小島）に納める。現在は丸池で神葎祭、神葎納め神事。江戸時代、神葎が天王川の堤防に着岸した年は、町民が「御葎踊」（みよしおどり）を行い、神葎を御慰。朝祭75日後（陰暦8月1日）。



# 【21】尾張津島天王祭では、尾張藩の援助はなかった。 ○か×か。 回答【 】



江戸末期の『大日本國中不思議競（くらべ）』『津島天王祭之潮』。川の水深については不思議なことが起き、天王祭になると潮が満ちて車楽舟が渡れる。

## 尾張藩からの寄進物『三通物』とは

- ①舟（50～60石舟）20艘
- ②竹類（斎竹20本・舟棹・提灯竹など）
- ③寄進米 50石 ※福島正則（慶長4年）  
松平忠吉（慶長6年）から



## 尾張藩からの車田

- ①阿原車田 14町5反8畝25歩
  - ②市江車田 4町8反4畝5歩 『萬覚』
- 『寛文村々覚書』では  
向島天王領（津島牛頭天王社）1293石  
元高152石 同所阿原分 車領